

在日米軍基地 「思いやり予算」で資産価値世界一

海外にある米軍基地の中で在日基地の資産価値の総額が、基地数で日本を上回る在日基地を引き離し最も高いことが、米国防総省の「基地構造報告2013会計年度版」で分かりました。在日基地の1位は5年連続となりました。

■総額4兆円に
同報告は、米国内外のすべての米軍基地を対象に、基地施設と支援インフラの価値を算出（土地は除く）。それによると、在日基地の価値総額は452億8490万ドル（12年9月末現在、以下同じ）となり、当時の為替レート（日本円で換算）で約4兆円に上っています。第2位の在日基地は407億2780万ドル。続いて韓国の150億9780万ドルとなっています。

基地ごとの資産価値では、上位4位までを嘉手納（沖縄県）、横須賀（神奈川県）、三沢（青森県）、横田（東京都）の在日基地が占めました。（表）

在日基地の資産価値が世界一になっていく最大の要因は、在日基地の大幅な削減が進む一方、日本政府の莫大（ばくだい）な「思いやり予算」で強化が図られてきたからです。米軍が日本の

米が手放したくない理由

基地を手放そうとしない大きな理由にもなっています。

■一層の負担も
米国防総省の大幅削減が求められている中、米上院軍事委員会は4月発表の報告書で、日本政府の「思いやり予算」による施設建設費がピーク時に比べ大きく減少していることや、米軍の優先計画に資金が当てられていないことに強い不満を表明しています。今後、米側から一層の負担を迫られる危険があります。

2013, 6, 25 NO. 611

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

在日米軍の資産値上位10位(単位100万ドル)

1	嘉手納空軍基地(日本・沖縄)	5857.2
2	横須賀海軍基地(日本・神奈川)	4679.8
3	三沢空軍基地(日本・青森)	4044.4
4	横田空軍基地(日本・東京)	3701.3
5	ラムSTEIN海軍基地(ドイツ)	3646.6
6	グアンタラモ湾海軍基地(キューバ)	3310.8
7	チュール海軍基地(グリーンランド)	2831.3
8	海軍支援施設ディエゴガルシア(英領)	2829.3
9	鳥山(オサン)空軍基地(韓国)	2423.9
10	海兵隊キャンプ瑞慶覧(日本・沖縄)	2336.6

(米国防総省「基地構造報告2013会計年度版」から)

沖縄に海兵隊基地集中

米国防総省の報告によると、地球規模の「殴り込み」部隊である米海兵隊の基地は海外に20カ所あり、うち19カ所が沖縄を中心として日本に集中しています。世界で唯一、米海兵遠征軍の前方出撃拠点となっていることを裏付けています。(残り1カ所は韓国)

日本の19カ所のうち、資産価値などが一定の基準を満たし、基地名が公表されているのは13カ所。

うち本土の基地は岩国基地(山口県)とキャンプ富士(静岡県)の2カ所で、残り11カ所は沖縄の基地です。2013年6月23日(日)



選挙区は名で
比代表は名で
「日本共産党」
など政党名で

「慰安婦」問題
赤嶺氏に回答
政府資料に強制証拠

安倍内閣は18日、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員が提出した質問主意書に対する答弁書で、「慰安婦」問題に関して日本軍による強制連行を示す証拠が政府の発見した資料の中にあることを初めて認めました。

赤嶺氏は、安倍内閣が「政府が発見した資料の中には、軍や官憲によるいわゆる強制連行を直接示すような記述も見当たらなかった」(2007年の答弁書)としていることについて、「政府が発見した資料」とは何か」と質問。答弁書は「内閣官房内閣外政審議室(当時)が発表した『いわゆる従軍慰安婦問題の調査結果について』において、その記述概要が記載されている資料を指す」とのべ、日本軍による強制連行を示す資料である「バタビア臨時軍法会議の記録」があることを認めました。

同記録は、日本軍がジャワ島セマランほかの抑留所に収容中のオランダ人女性らを「慰安所に連行し、宿泊させ、脅すなどして売春を強要するなどした」と明記。答弁書は「この指摘のような記述がされている」と認めています。

答弁書は「強制連行を示す証拠はなかった」という安倍内閣の認識は「同じである」としていますが、その根拠が根拠から覆される内容となっています。

赤嶺政賢衆院議員の話 政府が発見した資料の中に、法務省のバタビア臨時軍法会議の記録があることを認めた以上、第1次安倍内閣が2007年に閣議決定した「強制連行 資料なし」との答弁書が誤りであったことは明白です。

2007年の答弁書は、橋下徹大阪市長(日本維新の会共同代表)など「慰安婦」強制否定派が最大限に利用していますが、安倍内閣は答弁書の誤りを認めて、ただちに撤回するべきです。

2013年6月19日(水)



消防署の広域化

先の6月議会に、山辺広域行政事務組合を解散し、奈良広域消防組合を設立する議案が出されました。

これまで全く内容を知られず突然の提案でした。これまで、奈良市が自前ですると年間三〇億円のできるのに、広域化すると年間四〇億円負担することになるという理由で不参加を決められていました。生駒市も不参加で残る三七自治体が広域化の計画に参加されています。

そこで、「奈良広域消防組合になると田原本町の費用負担はどのくらいですか？」と質したところ、「数字を持ち合わせない」。奈良広域消防組合になっても山辺

広域の枠で予算をたて、活動すると聞いているが、誰が決算するのか？」と質したところ、「山辺広域の五市町村から選ばれた四人の奈良広域消防組合の議員」という答弁でした。

解散した山辺広域に自らをチェックする議会の機能はありません。

奈良広域消防組合は人件費が大幅に増えることを隠すために無理な制度設計をして、地方自治体の体をなしていません。

日本共産党は反対しましたが賛成多数で採択されました。三七自治体の中で1つでも反対されると制度設計をやり直すそうです。

田原本議会議員
吉田容工



ヘイトスピーチ

先週は台風の影響で、それなりの雨でしたが、ここに来てやっと梅雨らしくなって来た感じが有りますね。先週のような集中型はせっかく降っても一気に流れてしまうだけです。梅雨らしく期間を通して万遍に降ってくれる事を願うばかりです。

さて、在日朝鮮人・韓国人へのヘイトスピーチですが、一向に収まる気配が有りませんね。こうした民族差別を助長するような動きは真に怪しからん事ですし、決して許されません。解決が急がれますが、問題はその方法を如何にすべきかについて議論が分かれていきます。いくら表現や言論の自由が有るとは言え、こ

の問題は論外ですが、法で規制する事は根本解決にはなりませんし、方法としても間違いだと思います。

ほな、どうしますのん。と、当然問われますが、これは、国内政治における歴史認識の問題と深く関わっていると思えます。

安倍首相の改憲策動や橋下大阪市長の従軍慰安婦等々の一連の発言や歴史観からも分かる通り、背景には、日本の政治土壌が密接に影響している事は間違い有りません。と言う事は、選挙での皆さんの審判が何よりの解決策に他なりません。共に頑張りましょう。

川西町議会議員
芝 和也



「憲法」の本

先日、コンビニで「日本国憲法」(小学館発行)を見つけました。この本は「しんぶん赤旗」でも紹介されていましたが、増刷され、31年間に100万部を突破しているそうです。

この「日本国憲法」の本は税込みで525円という手ごろな値段で、大きな活字で写真も29枚を挿入。大変読みやすいものになっています。

本の中身も、現憲法だけでないに「大日本国憲法」も挿入。現憲法については英語訳も掲載されています。

また、「この日本国憲法は、昭和21年11月

3日に公布され、昭和22年5月3日に施行された原典に忠実に、かつできるだけ読みやすく楽しく手にとれるよう企画したものです」と小学館の意図もはっきりと掲載されています。

表題には「愛と平和と自由のために」と記され、表紙の帯には「読んでから考えませんか？」と呼びかけ、小学生から大人までが読み、学習できるようにになっています。誰もが購入できる「コンビニ」で販売しているのが気に入りました。

三宅町
池田年夫



同窓会に出席

先週の土日は、私の高校である八鹿高校大屋分校(当時)の同窓会がありました。がんこ寿司で宴会をし、リーガロイヤルホテルで泊まり、大阪の河を船で遊覧するという日程で楽しい二日間でした。

私達の同窓会は三年ごととに開いているので、親戚より頻繁に会っている感じで、しかもその都度顔ぶれも変わり懐かしさと新鮮さで一杯です。

私は常に幹事の一人なので会費を集めたり席順を決めたりの世話役でした。

今回初めて知った事がありました。卒業後、約一年間A組の卒業生が「ちよんがー」という手書きの新聞を発行してク拉斯メートに郵送してい

たのです。それを今回コピーして皆に渡してくれました。というのは、私達は高校二年生になる時、就職希望組のA組と進学希望組のB組に分けられ、私はB組に入ったのでこんな新聞が発行されたなんて知りませんでした。

内容は恩師や母校、そして友人の近況、ゴシップコーナー、パチンコ必勝法などもあり、一人で読んでいても声をあげて笑ってしまうような面白い記事ばかりです。

二年後は卒業五十年、次の会の案をひねっている同級生は「団塊世代」ならぬ「元気の団塊」と言えるでしょう。

田原本議会議員
森 良子

